



SPEED STAR 30m Dash Challenge  
仙台大会  
(ぶらんど～む一番町商店街)

6/21(日)開催

4/30時点

**SPEEDSTAR**

## 人生に、全力疾走を。

2040年、日本のスポーツ界はかつてない注目を集めていた。オリンピックの100m決勝に2人の日本人が並び、そのうち1人がついに金メダルを獲得。メジャーリーグでは2人の日本人選手同士が盗塁王を争い、サッカー欧州リーグでは“スピードスター世代”のフォワードがDFを置き去りにしてゴールを決めるシーンが日常になった。さらにNBAでは、瞬発力で切り込む日本人ガードがプレーオフで逆転のラストシュートを決め大歓声を集めている。日本人の瞬発力はラグビー・アメフト・ハンドボール・スポーツクライミングなど、あらゆる競技で注目を集め始めた。

その背景には、日本全国に広がった30mダッシュのタイムレコーディングという新しいカルチャーの定着がある。かけこというスポーツの原点で、一人一人が自分の最高記録に挑み続けることを楽しむ社会が生まれたのだ。その火付け役となったのが、トップアスリートから子供・シニアまでが参加する国民的イベント「**SPEED STAR 30m Dash Challenge**」だ。

30mという超短距離を全力疾走するこのイベントは、駅前や公園、学校、商業施設など日本中で開催されるようになり、30m計測ゾーンがあらゆる場所に設置され始めた。日常的に走る楽しさと記録更新の達成感を味わえるようになったのだ。学校の休み時間では30mのタイム計測に列ができ、企業では“朝イチダッシュ”が健康経営の象徴となり、80代でダッシュする人も珍しくなく、日本の健康寿命は過去最高を更新し続けている。

走ることが誰にとっても“当たり前の楽しみ”となった今、このカルチャーはトップアスリートを生み、健康を育み、地域をつなぎ、社会を明るくしている。全力疾走が日常にある国、日本。ここでは誰もが自分自身のSPEEDSTARに挑み続けている。



誰もが体験したことのある「かけっこ」の喜びを年齢や競技を問わず、日本中、そして世界へ広めていくために開催する30mダッシュのタイムトライアルイベント。大好評で終わった25年東京大会・大阪大会に続き、今年は仙台・大阪門真市・京都福知山市・東京駅前・福岡市で開催予定です。

## 1. 30mダッシュという新コンテンツ

わずか30mを全力疾走することで、運動経験や年齢を問わず誰でも参加・挑戦が可能な新しいスポーツコンテンツです。



## 2. 多様なスポーツジャンルが集結

陸上選手だけでなく、野球・サッカー・ラグビー・アメフト・バスケットなど、様々な種目の現役・OB選手がチームを組んでタイムを競います。



## 3. 子どもからシニアまで、幅広い世代が参加

キッズ向けの「かけっこクリニック」や一般参加可能なタイムトライアルなど、あらゆる世代に向けたプログラムを予定しています。



## 4. 競技とエンターテインメントの融合

スポーツ別対抗や企業対抗、一般タイムトライアル、大会当日のトークショーや表彰式など、多彩なコンテンツで会場を盛り上げます。

